

平成27年5月28日

教育委員会が所管する 主な事項の現状と課題

大項目	小項目	現状	課題																																						
確かな学力の向上	学力向上	・「わかる・できる喜びと学ぶ楽しさ」を実感させる学習指導を行い、学習内容の確実な定着を図り、「確かな学力」を伸ばすように、各校に指導。 ・各校は、全国学力学習状況調査の結果を検証して、学力の向上を図るために効果的な教育課程を編成し、学習指導方法を工夫改善。 《H26全国学力学習状況調査平均正答率(%)》 <table><tr><td rowspan="2">(小)</td><td colspan="2">国語</td><td colspan="2">算数</td></tr><tr><td>A(習得)</td><td>B(活用)</td><td>A(習得)</td><td>B(活用)</td></tr><tr><td>国</td><td>72.9</td><td>55.5</td><td>78.1</td><td>58.2</td></tr><tr><td>市</td><td>73.8</td><td>53.8</td><td>79.0</td><td>56.6</td></tr></table> <table><tr><td rowspan="2">(中)</td><td colspan="2">国語</td><td colspan="2">数学</td></tr><tr><td>A(習得)</td><td>B(活用)</td><td>A(習得)</td><td>B(活用)</td></tr><tr><td>国</td><td>79.4</td><td>51.0</td><td>67.4</td><td>59.8</td></tr><tr><td>市</td><td>77.2</td><td>47.4</td><td>65.5</td><td>55.3</td></tr></table> ・「〇〇学校学びんぐVプラン」の策定及び計画的実施 ・「高砂計算検定」の実施 ・家庭学習啓発資料「ぐうちよきぱあ」の活用 ・「あ・じ・み」による学習規律の徹底 ・「たかさごがんばりタイム」「学生スタディパートナー」の活用 ・ALTの配置活用による外国語活動及び外国語教育の充実	(小)	国語		算数		A(習得)	B(活用)	A(習得)	B(活用)	国	72.9	55.5	78.1	58.2	市	73.8	53.8	79.0	56.6	(中)	国語		数学		A(習得)	B(活用)	A(習得)	B(活用)	国	79.4	51.0	67.4	59.8	市	77.2	47.4	65.5	55.3	・思考力・判断力・表現力等の「活用」能力の育成(学力学習状況調査の結果分析による) ・学習規律の徹底及びわかる授業の継続的推進(基礎・基本の定着) ・学習習慣、読書習慣、生活習慣の確立(家庭との連携)
	(小)	国語		算数																																					
		A(習得)	B(活用)	A(習得)	B(活用)																																				
国	72.9	55.5	78.1	58.2																																					
市	73.8	53.8	79.0	56.6																																					
(中)	国語		数学																																						
	A(習得)	B(活用)	A(習得)	B(活用)																																					
国	79.4	51.0	67.4	59.8																																					
市	77.2	47.4	65.5	55.3																																					
小中一貫	小中一貫	・小中一貫教育推進校(高砂小学校・高砂中学校)では、合同の推進会議・職員会議・運動会等を実施。道徳教育、相互乗り入れ授業、数学・英語の少人数学習、小学校全学年での外国語活動など、個に応じたきめ細やかな教育活動の展開。 ・他の5中学校区でも、道徳教育推進や小学生の中学校体験など、小中連携教育を展開し、中1ギャップの解消、学習意欲の向上。	〈高砂小学校・高砂中学校〉 ・小中一貫の特色ある取組(行事面、学力面、生活指導面での充実) 〈他の5中学校区〉 ・市小中一貫教育推進会議での検討 ・中学校区単位の推進連絡会の実施																																						
就学前教育	就学前教育	・幼保連携型認定こども園化に際して、幼稚園教諭、保育士に対し認定こども園教育・保育要領に基づいた取組みの周知徹底。	・教育・保育内容の質の向上(研修会の充実) ・子育て支援の充実																																						

大項目	小項目	現状	課題																								
生徒指導	不登校	・小学校、中学校ともに、出現率が全国平均より高い。 ・特に、小学校の出現率の増加が懸念。 《不登校出現率(%)》 <table><tr><td></td><td>小学校</td><td>中学校</td></tr><tr><td>国(H25)</td><td>0.36</td><td>2.69</td></tr><tr><td>市(H25)</td><td>0.42 (22人)</td><td>3.50 (98人)</td></tr><tr><td>市(H26)</td><td>0.49 (25人)</td><td>3.57 (98人)</td></tr></table>		小学校	中学校	国(H25)	0.36	2.69	市(H25)	0.42 (22人)	3.50 (98人)	市(H26)	0.49 (25人)	3.57 (98人)	・対象児童・生徒による適応指導教室の活用((通級生)H25:8人、H26:6人) ・保、幼、小、中及び関係機関との連携 ・不登校の背景や要因の分析 ・不登校児童生徒の保護者への共感的支援 ・気づきによる未然防止 ・チームによる早期対応												
		小学校	中学校																								
	国(H25)	0.36	2.69																								
市(H25)	0.42 (22人)	3.50 (98人)																									
市(H26)	0.49 (25人)	3.57 (98人)																									
いじめ	・いじめ認知件数は、別表のとおり。 ・児童生徒1000人あたりの件数は、全国の数値を上回っており、平成26年度は中学校で減少しているが、小学校では増加。 ・いじめの形態としては「からかい・悪口」によるものが小学校で62%、中学校で54%と割合が最も高い。 《いじめ認知件数》 <table><tr><td></td><td colspan="2">いじめ件数</td><td colspan="2">件/1000人</td></tr><tr><td></td><td>小学校</td><td>中学校</td><td>小学校</td><td>中学校</td></tr><tr><td>国(H25)</td><td>117,745</td><td>53,646</td><td>18.0</td><td>16.4</td></tr><tr><td>市(H25)</td><td>122</td><td>84</td><td>23.4</td><td>30.0</td></tr><tr><td>市(H26)</td><td>128</td><td>61</td><td>26.4</td><td>25.3</td></tr></table>		いじめ件数		件/1000人			小学校	中学校	小学校	中学校	国(H25)	117,745	53,646	18.0	16.4	市(H25)	122	84	23.4	30.0	市(H26)	128	61	26.4	25.3	・『いじめ相談シート』、『生活アンケート』の活用(潜在的いじめの発見) ・声かけ、教育相談の実施(未然防止・早期発見・完全解消) ・「いじめは絶対に許さない」態度の育成 ・自他の生命や人権を大切にしたい指導 ・「いじめ対応チーム」を中心にした組織的な対応(「学校いじめ防止基本方針」に基づく)
	いじめ件数		件/1000人																								
	小学校	中学校	小学校	中学校																							
国(H25)	117,745	53,646	18.0	16.4																							
市(H25)	122	84	23.4	30.0																							
市(H26)	128	61	26.4	25.3																							
問題行動	・平成26年度児童生徒の問題行動等件数は、小学校33件延べ56人(25年度比+3件、+11人)、中学校586件延べ919人(25年度比+218件、+423人)で、小中学校とも延べ人数は減少。 ・しかし、小学校では窃盗や授業での指導不服従、喫煙、金品持ち出しなどは増加し、中学校では器物破損や校外での生徒間暴力などは増加。	・初発型非行の防止 ・未然防止の取組の充実 ・毅然としたきめ細かい指導(軽微な校則違反や問題行動を見逃さない) ・保護者と連携した継続的指導の推進 ・警察や関係機関と連携(特に、悪質で凶暴な行為や再犯性の高い場合)																									
豊かな心の育成	道徳教育	・中学校区ごとに設置した連絡会を核にして、道徳授業力の向上や家庭、地域と連携した道徳教育を推進。 ・道徳授業力の向上については、市全体で講師を招聘し、教職員研修を行い、中学校区で道徳授業研究会を実施。 ・家庭・地域との連携においては、道徳副読本を持ち帰り、保護者と一緒に読む機会を設けたり、道徳教育の啓発ポスターを作成し地域に道徳教育の取組を周知。また、参観日やオープンスクールで道徳授業を公開。	・中学校区ごとの道徳授業研修の継続的実施(道徳授業力の向上) ・家庭・地域への啓発 ・道徳の教科化への検討																								

大項目	小項目	現状	課題											
体力の向上	体力向上	(小学校) シャトルラン(持久力)は、男女とも県平均を上回っている。他の種目については、ほとんどが県平均以下。 (中学校) 男子のハンドボール投げは、県平均を上回っている。女子は全ての種目で県平均以下。	・児童生徒の体力運動能力の状況把握(新体力テストの計画的実施) ・運動の楽しさを味あわせる指導の充実 ・体育授業外の時間(中間休みや昼休み、放課後等)での主体的に運動を楽しむ環境づくり											
		<table><tr><td rowspan="3">小5</td><td rowspan="3">ソフト ボール (m)</td><td>(H26)</td><td>男</td><td>女</td></tr><tr><td>県</td><td>25.7</td><td>14.6</td></tr><tr><td>市</td><td>24.0</td><td>13.8</td></tr></table>		小5	ソフト ボール (m)	(H26)	男	女	県	25.7	14.6	市	24.0	13.8
		小5				ソフト ボール (m)	(H26)	男	女					
							県	25.7	14.6					
市	24.0		13.8											
<table><tr><td rowspan="3">小5</td><td rowspan="3">シャト ルラン (回)</td><td>(H26)</td><td>男</td><td>女</td></tr><tr><td>県</td><td>55.6</td><td>42.2</td></tr><tr><td>市</td><td>58.0</td><td>46.6</td></tr></table>	小5	シャト ルラン (回)	(H26)	男	女	県	55.6	42.2	市	58.0	46.6			
小5			シャト ルラン (回)	(H26)	男	女								
				県	55.6	42.2								
	市	58.0		46.6										
<table><tr><td rowspan="3">中2</td><td rowspan="3">ハンド ボール (m)</td><td>(H26)</td><td>男</td><td>女</td></tr><tr><td>県</td><td>20.9</td><td>13.7</td></tr><tr><td>市</td><td>21.2</td><td>13.0</td></tr></table>	中2	ハンド ボール (m)	(H26)	男	女	県	20.9	13.7	市	21.2	13.0			
中2			ハンド ボール (m)	(H26)	男	女								
				県	20.9	13.7								
	市	21.2		13.0										
<table><tr><td rowspan="3">中2</td><td rowspan="3">持久 走 (分秒)</td><td>(H26)</td><td>男</td><td>女</td></tr><tr><td>県</td><td>6'21"</td><td>4'47"</td></tr><tr><td>市</td><td>6'32"</td><td>4'53"</td></tr></table>	中2	持久 走 (分秒)	(H26)	男	女	県	6'21"	4'47"	市	6'32"	4'53"			
中2			持久 走 (分秒)	(H26)	男	女								
				県	6'21"	4'47"								
	市	6'32"		4'53"										
教育環境整備	中学校給食	・小中一貫教育の導入に伴い平成26年10月から、高砂中学校で実施。 ・他の5校の給食実施については、平成25年度の提言を踏まえた上で、実施にむけて、現在検討・協議中。	・中学校給食を実施するための課題整理(ハード面、ソフト面、教育活動への影響、財政面等) ・中学校給食の実施方針素案の取りまとめ(市長部局、教育部で構成する「庁内委員会」で課題協議)											
	大規模改造	小中学校施設の老朽化について、教育環境の維持向上のため、計画的に大規模改造を行う。平成26年度は米田小学校北棟に大規模改造工事を行ない、残る9校の普通教室棟を順次事業化していく。	・大規模改造工事を行うにあたり、1棟あたり数億円という多額の経費が必要。 ・少子化の進展によりクラス数の減が見込まれ、施設の有効利用について検討必要。											
社会教育施設等の整備	図書館	現図書館は9月末で閉館し、新図書館に移転(平成28年2月開館予定)	他市町図書館との連携(相互貸出、相互返却)											
	教育センター移転	・平成28年4月に旧生石宿泊センターに移転予定。 ・予定工期は平成27年6月上旬から平成28年1月29日まで。	・高齢者大学の学生及びOBの通学手段の確保。 1 法華山谷川右岸道路の整備 2 じょうとんバスの乗り入れ											
	「石の宝殿」の活用	平成26年10月6日、国史跡に指定され広報誌等で市民への周知を図っている。 平成27・28年度で史跡「石の宝殿及び竜山石採石遺跡」保存管理計画を策定する。 フォーラムを実施予定	史跡「石の宝殿及び竜山石採石遺跡」保存管理計画に続いて、今後「史跡保存活用計画」を策定し、活用事業の実施											

